

## 交通救助時におけるR A連携のあり方を 特別救助隊登録者が訓練

八代広域行政事務組合消防本部

八代広域消防本部は2月5・6日署の訓練場において、特別救助隊登録者39名による「交通救助事故における消防の活動連鎖（研修会）」と「交通救助活動時におけるR A連携訓練」を実施した。また、救急救命士の処置拡大（心肺機能停止前重傷者への静脈路確保及び輸液など）に伴う現場での処置介入のあり方についても共有した。

参加した救助隊員は、救助隊（R）と救急隊（A）の連携活動にかかる現場滞在の時間短縮と、要救助者の予後を考慮した最善の救助活動について確認することができた。



## ランナーが「火の用心」を呼びかける。

天草広域連合消防本部

天草広域連合消防本部では、平成27年3月2日、大矢野町内の国道沿いで、天草広域連合中央消防署大矢野分署の職員が防火マラソンを実施し、地域住民へ火災予防を呼びかけました。

全国火災予防運動に伴い実施したもので、「火の用心119」と1文字ずつ書かれたTシャツを着た職員7人が列をなし、登立地区岩谷公園から大矢野分署前まで約6kmを走りました。途中、お弁当のヒライや藍のあまくさ村など住民や観光客が集まる施設に立寄り、来客者などへ火の用心ティッシュを配布し、火災予防を呼びかけました。また、号令と「火の用心」の掛け声に道行く人が気づき、関心を持ってもらうことができました。



消防通信

望

楼

ぼうろう

## ひとり暮らし高齢者宅防火訪問の実施

茨木市消防本部

平成27年春の全国火災予防運動（3月1日～3月7日）の一環として、3月6日（金）に消防職員と女性消防団員が、大阪ガスと関西電力の協力により、茨木市在住のひとり暮らし高齢者宅を対象に防火訪問を実施しました。

火災を未然に防止するために、消防職員と女性消防団員が住宅用火災警報器の設置状況の確認を行い、大阪ガスと関西電力の職員がガス器具や電気器具の点検と取り扱い方法の説明を行いました。



## 防火実務体験訓練の実施

吹田市消防本部

防火実務体験訓練は、月に一度募集して、吹田市内に在住、在勤または在学されている団体や企業を対象に実施しています。この訓練は消火器・避難器具体験、煙中体験、天ぷら油火災実験、ガソリン・灯油などの危険物実験の見学など、実体験を通じて学ぶ体験型の訓練です。

これまでに、市内事業所をはじめとした多くの方々に体験してもらい、大変好評を得ました。

今後も定期開催して、多くの方に消火技術及び防火意識の普及啓発を図っていきます。



消防通信／望楼では、全国の消防本部、消防団からの投稿を随時受け付けています。

ご投稿は、「E-mail:bourou-fdma@ml.soumu.go.jp」まで【225文字以内の原稿とJPEG画像を別ファイルで送付してください】